

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
邨次 智恵美			
火2、火3			
添付ファイル			

科目の概要	保育への期待が高くなっている。この授業では保育者として子どもを養育するための健康に関する基礎知識を講義する。人体の生理機能の基礎知識を学びながら胎児期から乳幼児期の子どもの体と心の発育の特徴を解説する。さらに、子どもの健康と疾病の関係についても理解を深め、保育者として適切な対応、支援ができるように事例を紹介しながら講義する。		
授業の内容	第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等）	健康の定義について解説 WHOの健康の定義（テキストP12）を読み、自分の健康観をまとめておく
	第2回	子どもと母子保健について、ヒトの生殖機能から解説 母子保健の観点から各年齢期（新生児期、幼児期など）の呼び方を調べておく（テキストP18）	
	第3回	子どもの保健と統計について、人口、出生率、感染症などから統計を読む 小論文① 先天性風疹症候群について調べておく	
	第4回	子どもの発育と発達について、乳幼児期の身体発育の特徴を解説 スカモンの発育曲線のグラフを書けるようにしておく（テキストP32）	
	第5回	人体の生理機能（恒常性）について学び、子どもの体温、呼吸の特徴を解説 恒常性について調べておく	
	第6回	人体の生理機能（呼吸器、循環器、血液）について学び、胎児期と出生後の違いを解説 成人の血液の循環について調べておく。	
	第7回	人体の生理機能（消化器、排泄器）について学び 乳幼児期の食物摂取と健康の関係を解説 人体の臓器を書けるようにしておく	
	第8回	人体における睡眠について学び 子どもの睡眠の重要性を解説 確認テスト① 子どもの睡眠について保育者の視点からまとめておく	
	第9回	人体の生理機能（脳神経系）の発達について学び 乳幼児期の保育との関連を解説 乳児期の原始反射を調べておく（テキストP62）	
	第10回	子どもの運動機能の発達についてその原則と評価について解説 乳幼児期の運動発達の原則を調べておく（テキストP31, 67）	
	第11回	子どもの感覚機能（視覚・聴覚）の発達について解説 聴覚発達の月齢別の変化を調べておく（テキストP78）	
	第12回	子どもの歯（乳歯・永久歯）について学び 口腔衛生の重要性を解説 むし歯のでき方について調べておく（テキストP105）	
	第13回	子どもの心の発達と健康について解説 確認テスト② 医療的ケア児と保育について調べておく	
	第14回	障害のある子どもへの理解と支援について 低体重出生児を例に解説 小論文② 障害をもつ子どもの保育について調べておく	
	第15回	まとめ 子どもを健康的に養育する保育者の責任を解説 社会的に問題になっている虐待について、事例を集めておく	
学習到達目標	母子保健（生命の誕生、胎児期、出生）について理解し、子どもの健康を母子保健から説明できる 人体の生理機能について理解し、乳幼児の発育の特徴を述べることができる 乳幼児の身体の成長、運動機能の発達について理解し、その特徴を説明できる 子どもの心の健康（精神、情緒）について理解し、保育における養育の重要性を説明できる 子どもの健康観察の重要性を保育者の視点から説明できる		
授業の方法	講義形式（パワーポイント、板書使用） 事前に調べたことを発表 ワークシートを使う実習 など		
成績評価の方法	確認テスト（2回）	50%	
	小論文（2回）	40%	
	授業参加態度	10%	
教科書・テキスト	高内正子 編著 「心とからだを育む 子ども保健 I」 保育出版社		
参考書	永田和宏 著 新潮選書 「生命の内と外」 新潮社		
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	テキストを熟読し、授業で指示されたところは覚えること。		
履修上の留意事項	保育士資格取得に必要な科目です		

オフィスアワー	質問などは授業時間の後に教室で受けます
担当教員への連絡方法	教務課に申し出て下さい
その他	特になし